

外国人留学生の 県内就職を促す

徳島市でフェア

外国人留学生らに県内での就職を促すグローバルキヤリアフェア(県、県労働者福祉協議会主催)が26日、徳島市の四国大交流プラザであった。

飲食、建設、農業などの19社がブースを設け、県内大学の留学生ら9カ国の27人が参加した。企業担当者は事業の概要や募集職種を説明し、留学生らは資格や特技をアピールした。

四国大短期大学部でビジネスコミュニケーションな

どを学ぶタパ・マガル・プルナさん(29)は「ネパール出身は「ホテル業界を志望している。阿波踊りなど徳島の文化が好きなので、県内で働きたい」と、熱心にブースを回っていた。

13社が初参加で、これから本格的に外国人材の採用に乗り出す企業もある。木頭ゆずの生産加工販売を手がける「黄金の村」(那賀町)の営業部で海外戦略を担当する川人弘典さんは「伸びているタイ、フランス、アメリカなどへの輸出業務を任せる人を探している」と話していた。

(木下真寿美)